

令和3年度 シラバス

教科	商業	科目	ビジネス情報	学年	第2学年	学 科 類 科 型	情報ビジネス科
単位数	2単位	教科書	ビジネス情報（実教出版）				
副教材	全商情報処理検定ビジネス情報1級、ITパスポート試験テキスト&問題集						

学習目標	<p>ビジネスに関する情報を、表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを利用して管理、分析、活用する知識や技術を習得します。</p> <p>ソフトウェアを利用したビジネス情報システムの開発について理解し、コンピュータを活用して業務を合理化、自動化するなど積極的に推進する創造的な能力と態度を育みます。</p>
------	--

キャリア教育の視点	<p>業務の情報化の必要性、情報通信ネットワークの導入と運用及びデータの保護を取り扱い、オフィス業務において情報通信ネットワークを効果的に活用するための基礎的な知識と技術を習得します。</p>
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	4章 データベースソフトウェアの活用	<p>身近なテーマを基に、リレーショナル型データベースを活用して、データベースの検索機能についての知識や技術、データベースを操作するためのSQL言語を習得します。</p> <p>SQLを用いた汎用的なデータベースの操作方法を習得します。</p>	期末考査
	5月	1節 ビジネス情報とデータベース		
	6月	2節 データベースの利用		
	7月	3節 SQLの操作		
2 学 期	8月	5章 ソフトウェアを活用したシステム開発	<p>ビジネスに関連したシステムの開発に必要な基礎的な知識と技術を習得します。</p> <p>システム開発における代表的な開発モデルと、ユーザインタフェースなどに配慮した開発手法について、基礎的知識を理解していきます。</p> <p>処理を自動化するとき、処理の流れを整理するためのアルゴリズムについて、基礎的及び応用的な手法を習得します。</p>	期末考査
	9月	1節 システム開発の基礎		
	10月			
	11月	2節 アルゴリズムの基礎		
3 学 期	1月	2節 表計算ソフトウェアによる開発	<p>表計算ソフトウェアのプログラミング機能を使用し、マクロ機能を用いた開発の基礎を習得します。マクロの記述によって、「繰り返し」や「判断」などの応用的な処理を自動化するための手法を習得します。</p> <p>データベースソフトウェアを利用し、設計書に基づいて実際にシステムを構築する手法を身に付けます。</p>	期末考査
	2月			
	3月	3節 データベースソフトウェアによる開発		

学習の方法	<p>「情報処理」の学習内容を基に、ビジネスにおける活用を具体的に学びます。授業内容が専門的になるため、教科書・副教材を積極的に活用するよう心掛けます。</p> <p>パソコンを目的に合わせて適切に活用する能力を養うため、積極的に実習に取り組むことが大切です。</p>
-------	--

評価の仕方	<p>定期考査・課題の提出、成果の発表、及び学習態度や取組などから総合的に評価します。</p>
-------	---

備考	<p>全商情報処理検定1級、全商文書処理検定1級</p>
----	------------------------------